

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

コメント

1 RSウイルス感染症

定点当たり1.23人の報告がありました。全国・広島市ともに増加傾向で、注意が必要です。感染経路は、飛沫感染、接触感染です。おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒や手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

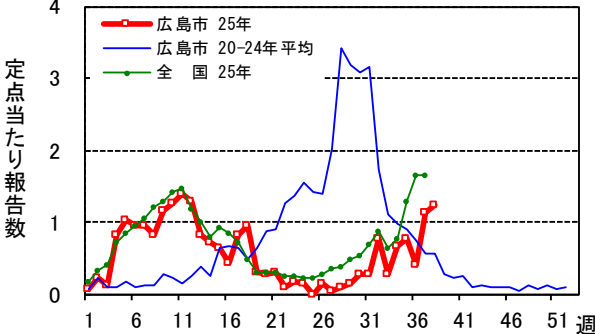
2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり6.77人と、多い状況です。県内では、第37週に東部保健所管内で、広島県が設定した医療ひっ迫警報基準値(定点当たり13人)以上となったため、9月18日、県内全域に「新型コロナ医療ひっ迫警報」が発令されました。手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策を行いましょう。また、発熱等の体調不良時は不要不急の外出を控えましょう。

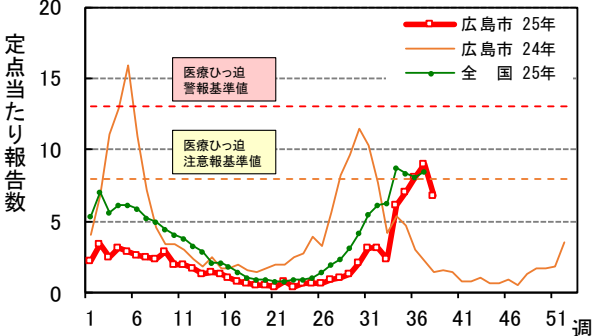
3 マイコプラズマ肺炎

定点当たり2.33人の報告がありました。多い状況が続いており、注意が必要です。

RSウイルス感染症の流行状況



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行状況



定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1890	54.00			小児科	突発性発しん	4	0.18	0.33	
	インフルエンザ	3	0.09	0.50			ヘルパンギーナ	6	0.27	0.54	
	新型コロナ(COVID-19)	237	6.77				流行性耳下腺炎	-	-	0.02	
小児科	RSウイルス感染症	27	1.23	0.57		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	9	0.41	0.20			流行性角結膜炎	13	1.63	0.63	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	1.95	0.84		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	93	4.23	2.09			無菌性髄膜炎	1	0.17	-	
	水痘	2	0.09	0.14			マイコプラズマ肺炎	14	2.33	1.37	
	手足口病	9	0.41	1.45			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	27	1.23	0.03			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↘ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇐ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI) 定点数(内科・小児科)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	93	30歳代
5	梅毒	3	111	20歳代・2人、30歳代・1人
5	百日咳	21	911	10歳未満・8人、10歳代・8人、20歳代・1人、30歳代・1人、60歳代・2人、80歳代・1人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	(COVID-19)	新型コロナウイルス 感染症	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
報告数	広島市	第34週	1,629	1	215	15	5	33	94	8	5	71	6	7	7	1	-	-	8	-	2	9	-	-
		第35週	1,580	2	245	17	8	47	111	4	6	65	7	1	-	-	6	-	1	14	-	-	-	
		第36週	1,983	-	285	9	9	46	111	3	15	51	3	10	1	-	12	-	2	6	-	-	-	
		第37週	2,168	8	317	25	2	61	75	2	13	42	4	12	1	-	12	-	1	14	-	-	-	
		第38週	1,890	3	237	27	9	43	93	2	9	27	4	6	-	-	13	-	1	14	-	-	-	
定点 当たり	広島市	第34週	46.54	0.03	6.14	0.68	0.23	1.50	4.27	0.36	0.23	3.23	0.27	0.32	0.32	-	-	1.00	-	0.33	1.50	-	-	-
		第35週	45.14	0.06	7.00	0.77	0.36	2.14	5.05	0.18	0.27	2.95	0.32	0.05	-	-	0.75	-	0.17	2.33	-	-	-	
		第36週	56.66	-	8.14	0.41	0.41	2.09	5.05	0.14	0.68	2.32	0.14	0.45	0.05	-	1.50	-	0.33	1.00	-	-	-	
		第37週	61.94	0.23	9.06	1.14	0.09	2.77	3.41	0.09	0.59	1.91	0.18	0.55	0.05	-	1.50	-	0.17	2.33	-	-	-	
	全国	第38週	54.00	0.09	6.77	1.23	0.41	1.95	4.23	0.09	0.41	1.23	0.18	0.27	-	-	1.63	-	0.17	2.33	-	-	-	
第36週		53.89	0.50	8.11	1.66	0.31	1.75	4.66	0.22	0.57	1.84	0.35	1.05	0.04	0.01	1.09	0.02	0.06	0.97	0.01	-	-		
		第37週	59.83	0.72	8.43	1.65	0.29	1.88	4.81	0.19	0.59	1.68	0.34	0.97	0.05	0.02	1.11	0.01	0.03	1.10	0.01	0.01	0.01	

■ 新たに判明した病原体検出状況

感染症発生動向調査に基づく病原体定点医療機関からの搬入分(ARI分を除く)のみ掲載

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	嘔吐(胃腸炎) 下痢	3	2025/07/10	糞便	ノロウイルスGⅡ
(検査: 広島市衛生研究所)					

■ 病原体検出状況(ARIサーベイランス)

感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

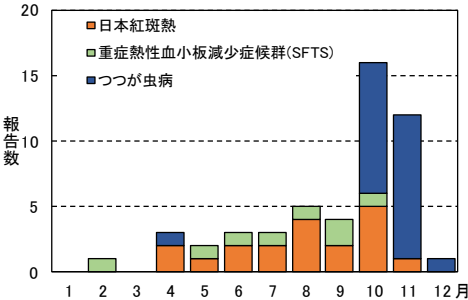
検体採取週	検査検体数	陽性検体数*	インフルエンザウイルス (A(H1N1)2009型)	インフルエンザウイルス (A(H3)型)	インフルエンザウイルス (B型)	インフルエンザウイルス (山形系統)	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	A型RSウイルス	B型RSウイルス	ヒトメタニューモ ウイルス	パラインフルエンザ ウイルス1型	パラインフルエンザ ウイルス2型	パラインフルエンザ ウイルス3型	パラインフルエンザ ウイルス4型	ライノウイルスノ エンテロウイルス	アデノウイルス
第33週	5	4						1		1				1	1	
第34週	14	9					4		1						4	1
第35週	14	9					4	2	2					1	2	
第36週	17	16					11	1							5	
第37週	18	8		1			5		1						1	

* 同一検体からの複数ウイルス検出例を含む (検査: 広島市衛生研究所)

詳しくはホームページで [広島市 病原体](#)  検索

【参考】ダニ類が媒介する感染症に注意しましょう！

広島市におけるダニ媒介感染症の発生状況
(過去5年・推定感染月別(不明を除く))



ダニ媒介感染症の主な症状は、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)は発熱や消化器症状、日本紅斑熱とつつが虫病は発熱や発疹で、重症化すると死亡することもあります。推定感染月は春から初冬にかけて多く、引き続き注意が必要です。山や草むらに入るときは、長袖・長ズボン等を着用して肌の露出を少なくし、ダニ類の付着を防ぎましょう。また、ダニ類に刺されて数週間以内に発熱等の症状が出た場合は、すみやかに医療機関を受診しましょう。



【参考】ダニ類が媒介する感染症に注意しましょう(広島市)
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/medical/1021213/1022968.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp